

令和元年産 コメ通信

第10号（令和元年9月18日）

【発行】

北秋田地域振興局農林部農業振興普及課
（電話0186-62-1835）

刈り取りは、ほ場を観察し計画的な作業を！

1 気象経過と生育状況

【気象経過】

- 気温の推移は、7～8月4半旬にかけて高温の期間となりました。その後、平年並みとなりましたが、9月2半旬に再び高温となりました。
- 日照時間は、7月上旬は多く、その後は、平年並みで推移しました。降水量は6月6半旬にまとまった雨が合った他、8月下旬に平年並みの降雨がありました。その他の期間は平年より少ない降水量となっています。

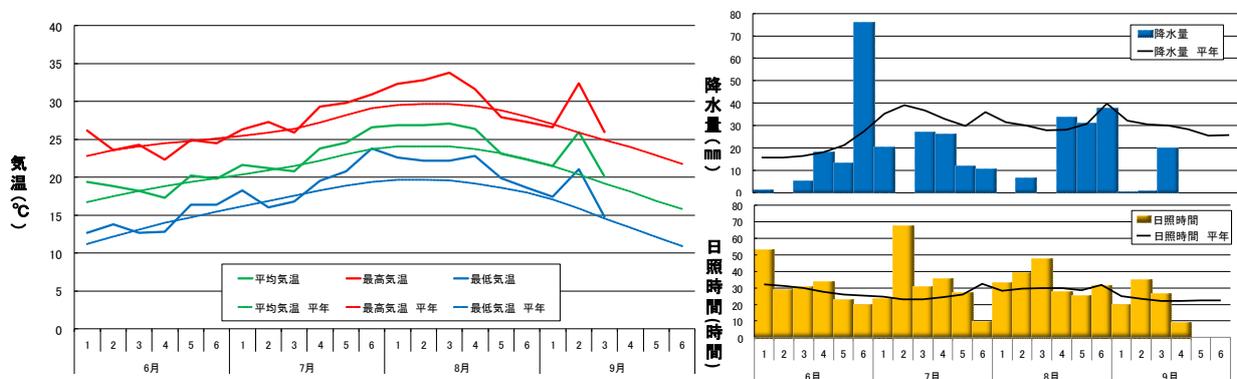


図1 気象経過図（アメダス鷹巣）

【生育状況】

- 成熟期（9月10日）の管内水稻定点調査ほ（9地点、品種あきたこまち）の調査の結果、稈長、穂長、穂数で平年並みとなりました。有効茎歩合は平年より高くなりました。
- 最高分けつ期の茎数が平年比95%と少なかったものの、十分な中干しを行えたこと等により無効分けつが少なくなり、有効茎歩合は、平年に比べて高くなりました。

表1 定点調査結果（成熟期：9月10日）

	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	有効茎 歩合(%)
本年	81.6	17.5	471	82.0
平年	82.6	17.4	467	76.8
前年	82.3	18.3	437	80.2
平年比較	99%	101%	101%	+5.2
前年比較	99%	96%	108%	+1.8

※平年は過去10か年の平均値

2 刈り取り適期の判定

○ 下記の刈取適期の判定目安を参考にして、最終的な刈取時期の決定は、各ほ場の籾の黄化程度を必ず確認し、黄化程度が90%に達した時期で判断してください。

本年は登熟期間中暑い日が続きました。また、平年より籾数が多い傾向のためデンプンの転流が不十分になり、白未熟粒が発生しやすくなっています。十分な登熟期間を設けて品質向上に努めてください。

<刈取適期の判定目安>

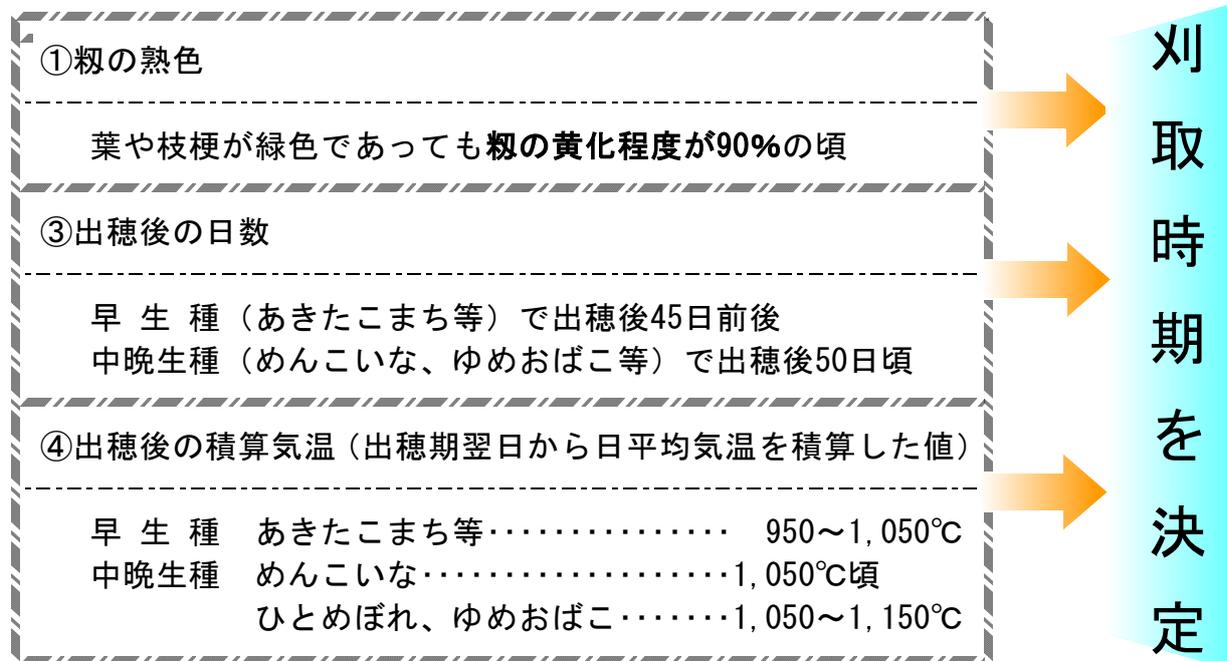


表2 積算気温到達日予想

出穂期	積算気温到達月日		
	950℃	1,050℃	1,150℃
8月1日	9月9日	9月13日	9月18日
8月5日	9月14日	9月19日	9月24日
8月10日	9月20日	9月26日	10月3日

※アメダス鷹巣データ（9月17日以降は平年値を使用）

<秋の農作業安全運動 9月10日～10月20日>

- 点検・調整時は必ずエンジンを停止してください。
- コンバインによる収穫作業は計画的に行い、長時間や夜間の作業を避けてください。
- 道路走行時は反射材を活用し、安全を確保してください。
- 作業前後は機械や安全装備の点検を励行してください。
- 軽トラック運転時のシートベルト着用、一時停止の遵守を徹底してください。
- トラクターに安全キャブ・安全フレームを装備し、シートベルトの着用を徹底してください。

！！ 稲わら焼き禁止期間 10月1日～11月10日 !!

問い合わせはJ A、または農業振興普及課まで
HPは「美の国あきたネット 北秋田 コメ通信」で
～次回発行は12月中旬予定～